

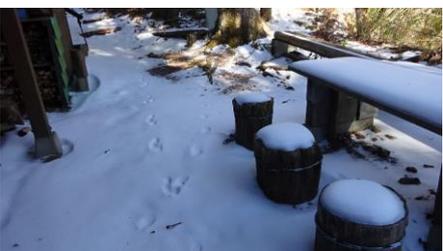
新宮山彦ぐるーぷ第2345回

持経宿と平治宿の巡回整備

◇実施日 1月13日(月・祝) 晴

◇参加者 梶野照雄、村吉光夫、阪口雄二、藤原裕一郎 4名

昨年12月8日以来の持経宿と平治宿に向かう。御所市の藤原君が参加されたが、車がノーマルタイヤなので川上村の道の駅で拾って村吉さんの車と2台で池原に向かった。新伯母峰トンネル付近の雪は殆ど溶けていて、橋梁に少し残っている程度だった。



村道で落石除去

持経宿に着く

国道の積雪を予想して20分ほど早く出たが、普段と同じ時間でスポーツ公園に着いた。阪口君はすでに到着していた。村吉車と阪口車の2台で持経宿に向かう。

林道ゲート手前の村道部分で落石を除去したが、林道の路面状況はいつもと変わらず、1時間弱で持経宿に着いた。

持経宿整備の村吉さんを残し、3名で平治宿に向かった。気温はマイナス2℃で風が強く、日差しはあるが体感温度は低い。



平治宿に到着

塗装ムラの屋根

ドアが無くなっていた

千年桧のお堂にあった小さなお餅を回収、中又尾根分岐で少し休み、午前11時前平治宿に着いた。玄関のしめ縄を外し、テーブルの鏡もちを回収する。小屋内外を点検し異常がないことを確認。秋に塗装した屋根は、塗装ムラのため元のサビが黒く見えている部分が多く、再度の塗装が必要だ。

トイレ棟のドアが一枚無くなっている。東側斜面を中心に3人で探したがドアやその痕跡は見当たらなかった。メジャーを持っていなかったもので、ドアの正確な寸法は測れなかったが、幅が比較的狭い(60cm?)ので運ぶことはできると思う。

天候が良ければ水場も確認するつもりだったが、風が収まらず15

分ほどで持経宿に引き返した。



マキ造り



本日の参加者



お酒は残す

持経宿に着くと、小屋前で村吉さんがマキ造り。小屋内はストーブの火で暖かくなっていた。お堂と小屋のしめ縄を外し、小屋に入って昼食を摂る。暫く動かしていない発電機も始動してエンジンの調子を確かめた。ストーブの近くで雑談しながらゆっくり過ごし、午後1時半に下山開始。2時20分にスポーツ公園に戻って解散した。

(記：梶野)

行動タイム

下北山スポーツ公園 08:50→09:40 持経宿 09:52→10:52 平治宿 11:06→12:03 持経宿 13:30→14:22 下北山スポーツ公園